

家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Fax. 026-227-2665
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

今年の夏も平年より暑くなりそうです

気象庁の長期予報によると、今後の気温は全国的に平年より高くなる可能性が高いとされています。特に初夏以降は、真夏日や猛暑日が早期に出現することが予想されており、家畜の暑熱ストレス対策の早期実施が重要です。

乳牛は暑さが苦手で、暑くなると体に負担がかかりやすい動物です。暑さによるストレスがかかると、エサを食べる量が減ったり、乳量が落ちたり、繁殖の調子が崩れたりといった影響が出やすくなります。

そのため、暑い時期は牛舎の風通しを良くしたり、風を当ててあげたりして、牛の体感温度を下げる工夫が大切です。また、しっかり水を飲めるようにすることも忘れずに行いましょう。

酪農ではどうしても乳を出している牛が優先されがちですが、子牛や乾乳牛の暑さ対策もとても重要です。これらの牛の管理が不十分だと、エサの食い込みが落ちてしまい、将来の乳生産にも影響してしまいます。

すべての牛が安心して夏を乗り切れるように、ぜひ気を配っていきましょう。

◆暑熱対策のポイント・・・“風＋水”がカギ



- ・換気をしっかり→風通しを確保
- ・送風で体感温度ダウン→扇風機等で牛に風を当てて、涼感アップ
- ・水はたっぷり・いつでも→食い込みや乳量が低下しないように

